

第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）に対するパブリックコメントの結果

意見募集期間 令和2年2月14日（金）～3月4日（水）

意見募集結果 16件（2名）

番号	戦略（素案）該当箇所	いただいたご意見	市の考え方（回答）
1	6P 基本的方向 3つめの項目	「農業の持続可能な発展を実現」とあります。 「農業」について、どういったターゲットにどう伝えるのか？が重要なのではないのかなと思いました。 小学生、中学生に伝える伝え方、市民へ伝える伝え方はどうか。 それぞれの興味を引くところから違った切り口で「農業」について考えてみては？	農業を子ども達に伝えるため、各学校等におきまして、それぞれの地域の特性を生かした農業体験等を行っています。生産農家を招いたり、実際に農場に行ったりすることで、農業への理解を深めるとともに、農業が子ども達への憧れにつなげ、将来、夢を持って担い手を目指せるような取組を行っています。 今後も、子どもから大人まで幅広い市民に向けて赤磐市の農業について情報発信を行い、担い手の育成や農業の発展を推進してまいりたいと考えています。
2	7P 基本的方向 2つめの項目	「高齢者の生きがいづくり」について、熟練した技術を若い世代とくに、小さな子どもに分かりやすく見せる機会を設けることで、高齢者も子どもたちもイキイキとした地域になるのではないのでしょうか。 高齢者の方には、ご無理のない範囲で特技を披露していただき、輝いて欲しいと思います。その輝く場があることで、認知症予防にもつながり、地域が豊かになるのかなと。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。
3	8P (1) 若者の経済的自立	「近隣自治体で生活する若者に向けて」のところですが、岡山市内で賃貸物件に暮らす新婚世帯や住宅購入を希望する世帯へ向けての情報提供が有効ではないのでしょうか。仕事場は変わることなく、のびのびとした住環境で過ごせることをアピールできると、お互いにメリットは多いと思います。 そのためには、岡山市内の住宅相談カウンターへの情報提供が有効なのかなと。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。

4	8P	(2) 多様な働き方の提案	<p>クラウドソーシングの実績を見える化して、こんな働き方もあるという情報と赤磐市が無料でセミナーを開催していることの周知をもっと広げると、小さなお子様を持つお母さん方の選択肢が広がりにいきいきとした生活が送れるのではないかと思います。</p> <p>働きたくても働けない時期で、母は一人焦ってしまいます。その期間にも自分でお金を少しでも稼げた時の幸福感は、子育てにも大きく影響し、子供たちにも愛をたっぷり注ぐことができるのではないのでしょうか。</p> <p>母はいつも笑っていて欲しいです。</p> <p>子どもたちは笑っているお母さんやお父さんが大好きです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。</p>
5	9P	(3) 世帯のニーズに応じた住宅助成の充実	<p>「空き家を利用した賃貸物件の充実」とあります。空き家を市営住宅として利用させて頂くことで、アパートではなかなか難しいご近所付き合いが、体験でき、定住のための基礎勉強となるのではないのでしょうか。</p> <p>アパートよりも、空き家を活用した物件をおすすめして欲しいです。空き家を市営住宅として貸し出しますということの情報を近隣不動産関係各所にも提供していくといいのかなと。</p>	<p>空き家の有効利用のため「空き家情報バンク」でマッチングの支援を行っています。今後も登録件数を増やし、様々なタイプの空き家を提供することで、赤磐市への移住を希望する人のニーズに対応できるようにしていきます。ご提案いただいた「空き家を市営住宅として利用する」ということは、民間ストックを活用することで、初期の投資コストの抑制、地域的な偏りなどを解決する手法として有効であると考えられますが、現在のところ、本市では公営住宅の空き部屋も数多く存在していることから、空き家を借り上げて、公営住宅として利用するという事までは考えておりません。貴重なご意見をありがとうございます。今後、検討する際の参考にさせていただきます。</p>
6	9P	(4) 結婚に結びつく支援の推進	<p>「市内での結婚を後押しする制度」の周知は、現在はどこで行われているのでしょうか。</p> <p>あまり知られていないように思います。コンビニやふれあい公園のトレーニングルーム、市内飲食店への掲示等、ターゲット世代が立ち寄るスポットへの掲示を継続して行うといいのかも。</p> <p>市内某所での結婚披露パーティーなどが実現されれば、結婚感も高まるのでしょうか？英国庭園のホールでパーティなんて素敵だと思います</p>	<p>赤磐市で取り組んでいる婚活イベントの情報は、市内企業、学校、公的機関などにチラシを配布し、周知を行っていますが、より多くの方に知っていただくためにも、いただいたご意見を参考にし、様々な施設へ配布していきます。また、熊山英国庭園では、園内で結婚式の前撮りをする方も多くおられるので、結婚パーティーなどにも活用してもらえるように、PRを行います。</p>

7	12P	1 重要業績評価指標 ヤングボランティア養成事業参加者（中高生の地域活性化事業参加者）	ヤングボランティア養成事業は、どんなことを勉強して、養成事業を受けた参加者の何割くらいがどんなところへボランティアとして参加しているのかの詳しい内容はどこで見ることができますか？ 地域とヤングボランティアのコラボは、地域を豊かにするととても素晴らしい働きになると思います。 ヤングボランティアに期待したいです。	ヤングボランティア養成事業は、公民館事業や市のイベント等に中高生ボランティアを中心とした子どもたちの活躍の場を創出し、そこへ参画させ、中高生の視点で地域の課題を探り、課題解決に向けた取り組みを行う目的で実施しております。中高生がボランティア活動を通じて、地域住民との触れ合いの中で地域の愛着心や、地域定着、Uターンに繋がっていきたいと考えております。平成30年度は、公民館まつりや成人式等各イベントに延べ135人の中高生ボランティアが参加しました。また地域の課題発見から課題解決に繋がった高陽中学校の中学生ボランティアによる「盆踊り復活プロジェクト事業」は、年々支援の輪が広がり、地域との連携も強化されております。これらの取組は公民館が発行している公民館だよりや広報あかいわなどに掲載しています。今後も、それらの媒体を活用した情報発信を行いながら、子どもたちの主体的かつ自主的な取組に発展していくよう、取組を推進していきます。
8	13P	(3) 郷土の魅力を認識できる教育活動の推進	「固有の自然や歴史、文化等を再発見する」に「人」を加えてもいいのかなと思いましたが、いかがでしょうか。 人も郷土の魅力のひとつに入ります。	ご意見のとおり「人」も赤磐市の魅力の一つであることから、「固有の自然、歴史、文化、人等」に変更します。
9	17P	(4) 周遊・滞在できる観光ルートの形成	収穫の時期に人手が足りない現象について、逆にツーリズムとしてプランニングしてみたいかでしょうか。 収穫体験（農業体験）＋竜天オートキャンプ場テント泊プランのような感じで、ネイチャー体験プランがたくさんできる気がします。 観光する時に宿が無いというデメリットに対応して、林間学校や是里リゾートハウスをシェアハウスのように利用することで赤磐の魅力を知って頂く時間が持てるのではないのでしょうか。 月一などの間隔で市内周遊ももちろんバスツアーがあると、小さな子どもから年配の方まで楽しめるミニツアーが実現でき、地元の人で地元のことを知るきっかけになるのでは。 素敵な素材がたくさんある赤磐なので、それをうまく生かすことができると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。

10	19P	(3) 6次産業化・次世代農業の推進	「農産物直売所」には、とても素敵な商品やスタッフさんが多いので、情報発信をもっと活用することで市民の方、市外の方へ情報提供ができるのではないのでしょうか。情報が届いていないのがもったいない気がします。SNSでの発信をお待ちしております。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。
11	21P	(3) 移住費用軽減施策の充実	おためし住宅の利用率は、どれくらい利用されているのでしょうか？お試しされた結果、移住された方はどれくらいで、おためし暮らしまでして、移住へ至らなかった理由はなんだったのでしょうか？	現在、おためし住宅として利用している物件は市内に3か所あります。平成30年度の実績では、8世帯の利用がありました。移住へ至らなかった理由は、おためし住宅を利用される方は、慎重に検討を重ねることから、他の自治体も含めて検討している場合も多く、比較検討した結果、赤磐市への移住に至らなかったと考えられます。「よい物件が見つからなかった」「仕事に就くことができなかった」など、その理由は様々です。おためし住宅を利用された方が赤磐市への移住につながるよう、フォローアップの体制を整えてまいります。
12	21P	(3) 移住費用軽減施策の充実	婚活パーティーに、おためし住宅宿泊プランを組み合わせることは可能でしょうか。婚活パーティーバスでお試し住宅までお送りするなど？せっかく赤磐まで来て頂くのならば、赤磐を満喫していただくプランを提案いたします。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。
13	22P	(1) 市民が主体のまちづくりの推進	「市職員も市民活動と双方向で事業ができるよう」のところですが、市民活動に積極的に参加されている職員さんはとても素晴らしいと思います。その観点を、新人研修の場などで活動を発表して頂いたり、頑張ってる姿をぜひみなさんに知って頂きたいと思います。そして、ひとりでも多くの職員さんが参加しつつ市民の方々との交流を深めて頂くことを望みます。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。

14	23P	(3) 公共交通機関の整備・確保と利用促進	<p>「高齢ドライバーが安心して免許を返納できる環境」これは高齢ドライバーだけでなく、車を運転しないひとすべてに関わってくると思います。例えば、団地内をぐるぐるする市民バス路線の導入をすることで、そこにコミュニティも生まれてくるのではないのでしょうか。坂の多い住宅地にとって、ぐるぐるバスが欠かせない存在になることでしょう。</p> <p>小さい子どもから年配の方が同じ時間を過ごすわずかな時間も、地域が豊かになる一つではないのでしょうか。</p> <p>ノーマイカーデー、ノー自転車デーとイベント的に楽しめるチャンスと使って、広い世代の方に親しまれるバスになるといいなと願っています。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。</p>
15	25P	(3) 地域での支えあい	<p>「高齢者の閉じこもりを予防し、地域の人々と関わりを持ち続けること」のところですが、地域みんなが声を掛け合うことが基本になるのかなと思っています。</p> <p>挨拶をするだけで元気になれます。</p> <p>最近では、学校では知らない人に声をかけないようにと指導されていたりとなかなか難しいところではありますが、声を掛ける（あいさつをする）ことの方がトータル的に地域メリットが多いと思います。人が見えたら「こんにちは！」を言いたいですね。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。</p>

16	その他	<p>赤磐市が魅力的な街となる為の課題を考えました。各地区別に、赤磐市に住みたい、住んで良かったと思える為に必要な課題を挙げています。</p> <p>【山陽地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河本岩田地区に出来る公共交通結節バスターミナルの早期完成 ・行政機関の集約 ・大型市民ホールの新設、飲食店の充実 ・山陽団地活性化 <p>河本岩田地区を新市街地として、行政機関を集約する 赤磐市役所、中央公民館、山陽保健センター、郷土資料館→移転：河本岩田地区 赤磐市社会福祉協議会、シルバー人材センター、老人福祉センター→移転：河本岩田地区 赤磐警察署→瀬戸町から移転：河本岩田地区 河本岩田地区に出来るバスターミナルと山陽自動車道近くの高速バスターミナルを結ぶバス路線の開設 赤磐市役所、中央公民館、山陽保健センター、郷土資料館跡地 →大型市民ホール新設、複合型飲食ビル新設 稲荷山健康センター、大江戸温泉物語等のような宿泊型温浴施設誘致 →山陽団地ショッピングセンター跡地 岡山県立大学農学部誘致→立川地区</p> <p>【赤坂地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂地区の行政機関を山陽地区と統合（行政機関の集約） ・歩道の整備 <p>赤磐市役所赤坂支所をはじめとする行政機関→廃止（新赤磐市役所と統合）：河本岩田 赤坂地区の行政を移転することにより、河本岩田・赤坂地区内のアクセス向上（市民タクシーの充実、自転車道の整備） 砂川沿いである赤坂・吉井（片鉄ロマン街道）間のサイクリングロードを作る</p> <p>【熊山地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊山駅再開発 ・熊山運動公園周辺の充実 ・松木地区に医療福祉健康施設の集約 <p>熊山駅→観光案内所新設 市営レンタカー（激安価格のレンタカーにより熊山駅利用者増に繋がる） 熊山駅バリアフリー化（多目的トイレ、エレベーター新設） 熊山運動公園周辺→ビッグバン直営ホッケー専門ショップの誘致、アウトドアショップ誘致、フィットネスジム誘致</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、市への提案として、第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業を行う際に参考とさせていただきます。</p>
----	-----	---	---

いわなし幼稚園→廃園（磐梨認定こども園として開園）
赤磐市役所熊山支所、熊山公民館、熊山ふれあいセンター、岡山東農業協同組合熊山支店、熊山保健福祉総合センター →移転：磐梨（沢原）地区

豊田小学校閉校→磐梨小学校と統合

豊田小学校跡地→赤磐市特別支援学校開校

医療的ケア児受け入れ可能な市立保育園の開園、子育て交流施設の整備、産科・小児科のある医療機関の整備

赤磐市役所熊山支所、熊山公民館、熊山ふれあいセンター、岡山東農業協同組合熊山支店、熊山保健福祉総合センター跡地→

『赤磐市立診療所附属医療福祉専門学校』もしくは『赤磐市立大学』新設

赤磐市内の人材不足は赤磐市で養成して、人材確保を行う事が目的→『赤磐市立診療所附属医療福祉専門学校』の場合、介護福祉士、保育士、看護師を養成する学科を設置

『赤磐市立大学』の場合、社会福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士を養成する学科を設置

【吉井地区】

- ・自転車道を活用した魅力ある町づくりの整備

吉井福田辺り（片鉄ロマン街道付近）→サイクリングステーション新設（地元地産地消レストラン、サイクリスト休憩所、自転車持ち込み可能な宿泊施設、ジャイアントストア誘致）

【桜が丘地区】

- ・桜が丘中央再開発事業
- ・子育て世帯に優しい町づくり

桜が丘中央にこどもがのびのび遊べる場所を作る

（案）こどもの国、キッズニア、大型児童館、ベビー・キッズに優しい飲食店等

ベビーカーで安全に散歩できる歩道の整備

赤磐市が魅力ある街になるよう取り組んで頂きたいと思います。
また、赤磐市外に大切な若者の人材が流出しないよう、養成機関でプロフェッショナルを養成し、赤磐市内で働けるよう取り組むことが、『子育てするなら赤磐市』に繋がっていくと思います。

『子育てするなら赤磐市』と言いつつ、県立高校がなく、周辺地域の高校へのアクセスも悪い状況であり、赤磐市内に県立高校ができる可能性は極めて低い状況の為、周辺高校へのアクセスは最重要課題ではないでしょうか？赤磐市の公共交通の貧弱さは今後の赤磐市の発展の為になんとかしないとイケない課題です。

近隣市町(岡山市、和気町、美作市、津山市)へのアクセス向上を改善し、子どもたちが高校に進学する時に選択の幅が広がるようアクセス改善が重要だと思います。

民間の力やJR西日本と連携をしていき、公共交通の充実を図って頂きたいです。

そこで2つの提案をしたいと思います。

1.新設バスターミナルを赤磐市の中心駅(赤磐駅)として、岡山駅方面にLRT電車が通れるレールを新設し、警察学校の辺りに牟佐駅を作り、津山線玉柏駅、備前原駅、法界院駅岡山駅を通り、吉備線と接続して吉備線各駅に停車し総社駅まで直通運転する路線を作る。

→これにより、赤磐市から大安寺高校や一宮高校、関西高校、創志学園高校へのアクセスを始め岡山県立大学や岡山大学へのアクセスも向上します。

2.赤穂線西大寺駅及び姫新線津山駅を始発終着駅として、JR西日本の電車が通れるレールを作り、西大寺駅、大多羅駅、東岡山駅→新設バスターミナル予定地である場所に赤磐駅、大型住宅団地である桜が丘地区内に岡山ネオポリス駅、サエスタ近くに和気佐伯駅、吉井地区片鉄口マン街道沿線に備作駅、湯郷温泉街に湯郷温泉駅、そして姫新線勝間田駅、西勝間田駅、美作大崎駅、東津山駅、津山駅の路線を作る。

→これにより西大寺高校、学芸館高校、東岡山工業高校、城東高校をはじめ赤穂線沿線の高校や津山市内の高校へのアクセスが向上し、選択肢が一気に広がります。

また、現津山線沿線は土砂崩れが頻発しており、代替路線としての役割もあります。

周辺地域へのアクセス向上により、進学の選択肢が広がります。

このような、居住環境の整備を図っていくことが、子育て世帯に求められていることであり、『子育てするなら赤磐市』と言えるのではないのでしょうか？

将来を見据えた公共交通の再構築について、市民バスやデマンドタクシーの利用状況を見ると市民のニーズと合っているのか疑問に感じます。
中山間地域においては、市民バスやデマンドタクシーはとても必要な公共交通であります。市民の多くはバス路線が増えることよりも電車が通ることを望んでいる人が多いのではないのでしょうか？
吉備線のLRT化が決まり、岡山大学へ向けての津山線への乗り入れも検討されています。
総社市、岡山市と協議の場を持ち、津山線法界院駅、備前原駅、玉柏駅を通り、河本岩田新拠点に赤磐駅を作ること検討されてはいかがでしょう？
欲を言えば、ネオポリスまで通って欲しいところではありますが。
LRT化で赤磐市と吉備線を結ぶことで、赤磐から岡山市、総社市へのアクセスが向上すると思います。
公共交通の新拠点の整備と謳うのであれば、市民バス、タクシー、宇野バスが停まるだけの場所では何の魅力もありません。
以前、赤磐市議会議員とお話した際に、岡山市と赤磐市を結ぶモノレールを作りたいとおっしゃられていました。将来的には吉井まで伸ばしたいと。
循環バスが廃止されたように赤磐市内だけで、用事が完結することを望んでいる市民は少ないと思います。
市民の多くは近隣都市（岡山市や津山市）とのアクセス向上を望んでいます。既存の公共交通に拘らず、新たな視点で赤磐市民が住みやすいように公共交通の再構築を検討して頂きたいと思います。